

一般質問

◆湯沢市人口ビジョンと

財政運営について

質問 人口減少問題は本市の財政運営にどのような問題を招くのか伺う。

答弁 市税収入の減少により一般財源の確保が今以上に困難になり、一般財源で実施してきた行政サービスの維持に支障を来すなど様々な面で大きく影響するものと認識している。

質問 人口減少問題に対して本市がとるべき財政的な対応について伺う。

答弁 引き続き既存事業の見直し改善や行政事務の効率化を進めるとともに、自主財源確保の取組や予算編成における事業のスクラップアンドビルドを進め適正な財政運営を行っていく。

◆湯沢市ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた対応について

質問 ごみの減量を達成するための標語を市民や企業から募集してはどうかと考えるが、見解を伺う。



答弁 標語の募集は、市民一人ひとりがごみ減量化について考えるきっかけをつくる有効な取組であり、今後、実施に向けて協議していく。

◆山岳資源を活かした

観光誘客について

質問 山岳資源を活かした観光誘客施策を事業化するための条件等について伺う。

答弁 安全に登山していただくような環境整備に努めるとともに、山の魅力発信やイベントの開催に向けて関係団体等との連携を強化する。

◆本市における防災対策の

現状について

質問 災害時に救助要員となる各地区の消防団員への処遇を改善し、新規団員の加入について、もっと力を入れるべきと考えるが見解を伺う。

答弁 消防団員が安全、安心して活動ができるようにヘルメットやライフジャケット等、必要とされる装備品の配備を行っている。また、消防団員の年額報酬や出勤報酬について、令和4年4月に見直しを行っている。

引き続き団員の装備品や環境整備の充実等、処遇改善に努めていく。新規団員の加入については、消防団員の活動や活躍の場のPRを通じてイメージアップを図っていくことが重要であると考えている。

◆人口減少対策について

質問 人口減少問題は喫緊の課題であると考えますが本市の取り組みについて伺う。

答弁 本市の人口減少は、進学等による若い世代の流出や経済的な理由による婚姻率の低下が

要因として挙げられており、若い世代への集中支援策に取り組み、多くの若者に本市に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるような環境整備を図っていく。令和6年度の具体的な取組として、学校給食費の無償化、子育て支援機能の拠点となる湯沢市複合公共施設の整備、雄勝地域の放課後児童クラブ整備、結婚相談所費用の助成、こども誰でも通園制度への助成など少子化対策のほか、高齢者等雪対策事業や地域公共交通活性化事業など日常生活に密接に係る市民サービスの向上に取り組む、安心して住み続けられるまちを目指していく。

